



(1) 短期入所計画日数・実日数

短期入所 計画日数	①	②	③	日	サービス提供日	1	2	3	4	5	6	7
短期入所 実日数				日	サービス提供日	8	9	10	11	12	13	14
						15	16	17	18	19	20	21
						22	23	24	25	26	27	28
						29	30	31				

項目	記載内容	備考
① 短期入所計画日数	居宅サービス計画作成時に、当該事業所の計画に位置付けられた短期入所の計画日数のうち、支給限度基準額範囲内の日数を、サービス提供票の別表をもとに記載する。	
② 短期入所実日数	当該月中に実際に当該事業者から短期入所介護サービスを実施した日数を記載する。日数は入所した日、退所した日も1日として算出する。	
③ サービス提供日	当該月中に実際に当該事業者から短期入所介護サービスを実施した日の日付を○で囲む。	

(2) 居宅サービス計画

様式二と同様。

(3) 請求額集計欄の記載方法

請求額集計欄	区分	保険分				公費分			
	①単位数合計								
	②単位数単価				円/単位				
	③給付率			/100					
	④請求額(円)								
	⑤利用者負担額(円)								

(4) 請求額集計欄の記載方法

項目	保険分	公費分	備考
①単位数合計	給付費明細欄のサービス単位数の合計を記載する。	給付費明細欄の公費対象サービス単位数の合計を記載する。	
②単位数単価	事業所所在地における当該サービス種類の単位数あたり単価を記載する。	/	
③給付率	介護給付費の基準額のうち保険給付を行う率を百分率で記載する。	公費負担の給付を行う率を百分率で記載する。	
④請求額 (円)	①単位数合計 (保険分) に②単位数単価を乗じた結果 (小数点以下切り捨て) に③給付率 (保険分) を乗じた結果の金額 (小数点以下切り捨て) を記載する。	①単位数合計 (公費分) に②単位数単価を乗じた結果 (小数点以下切り捨て) に、更に③給付率 (公費分) から③給付率 (保険分) を差し引いた率を乗じた結果 (小数点以下切り捨て) から、⑤利用者負担額 (公費分) を差し引いた残りの額を記載する。	「④請求額」 (公費分) は、公費の給付率が 100/100 で、保険分と公費分の「①単位数合計」が等しいため、公費の本人負担を除く利用者負担が発生しない場合は、「①単位数合計」 (保険分) に「②単位数単価」を乗じた結果 (小数点以下切り捨て) から「④請求額」 (保険分) と「⑤利用者負担額」 (公費分) を差し引いた残りの額を記載する。
⑤利用者負担額 (円)	①単位数合計 (保険分) に②単位数単価を乗じた結果 (小数点以下切り捨て) から、④請求額 (保険分、公費分) と⑤利用者負担額 (公費分) を差し引いた残りの額を記載する。	公費負担医療、または介護扶助で本人負担額がある場合に、その額を記載する。	保険分は総費用額から保険・公費請求額を差し引いた額、公費分は公費の制度毎で規定する公費本人負担額。

(5) 請求額集計欄の記載例

サービス提供票別表の区分支給限度基準内の日数を記載する

短期入所	5	日	サービス提供日	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
計画日数				
短期入所				
実日数	7	日		

サービス提供票別表の区分支給限度基準内の日数が保険給付の対象となる。(2日分は全額利用者に請求)

サービス内容	サービスコード	単位数	回数	サービス単位数	公費分	公費対象単位数	摘要
単独短期生活I3・機能	211132	1077	5	5385			
短期入所生活介護送迎加算	219200	184	1	184			
保険給付対象外の日にいった送迎は保険給付の対象とならない							
合計				5569			

区分	保険分	公費分	
①単位数合計	5569		5569 × 10.4 (小数点以下切り捨て) = 57917 (総費用額) 57917 × 90/100 (小数点以下切り捨て) = 52125
②単位数単価	1040	円/単位	
③給付率	90	/100	7/100
④請求額 (円)	52125		
⑤利用者負担額 (円)	5792		57917 (総費用額) - 52125 = 5792